



～持続性の追求～

2013年4月10日発行 4月号 No. 218

◇「(公社)全日本トラック協会青年部会発足」



公益社団法人全日本トラック協会
 青年部会部会長 佐久間 恒好 氏
 [練馬支部 (株)商運サービス]

日頃は、東ト協本部を通じまして青年部活動に深くご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

全ト協にて、全国の青年組織をひとまとめにする「全国物流青年経営者中央研修会」の代表幹事にご拝命をいただき、あと二ヶ月もすれば早いもので三年が経過しようとしています。22年の歴史ある研修会、その裏側には全国からの熱い思いがぶつかり合い、「一つになること」がなかなか実現できなかったと伺っています。「青年部」とは、沢山勉強しながら人脈も増やし、自社の繁栄や業界の発展の為に金で買えない「財産」を得られる場。自社の繁栄は、各々の腕の見せどころですが、業界を取り巻く環境を改善していく力は、「団結」なくして突破口を切り開くことは難しいと思います。同研修会の場合、そのような考え方をシンプルに訴え続けて参りました。東日本大震災が一つのきっかけとなり、青年組織に対する期待も加速させ、22年間「研修会(勉強会)」として位置づけられてきた「全国物流青年経営者中央研修会」を、この4月1日より、「(公社)全日本トラック協会青年部会」として新たに発足させて頂く運びとなりました。

義援金活動では、ロジスティクス研究会の皆様を始め、女性部の皆様、つまり、東ト協三組織の後押しなくして「最初の一歩」を踏み出すことは出来ませんでした。過日3月29日～30日では、今日までの浄財を活用させて頂き「プロ野球親子観戦・東京観光ツアー」を企画、計162名をご招待させて頂き無事に終えることが出来ましたことに対しましても、改めて心より深く感謝を申し上げます。大切なことは、「青年が」ではなく、「トラック業界(協会)が」、ということ。一般国民の方々より、私たちが理解して頂き認めていただくには、一番の近道だと確信しております。これからも、全国の青年組織に発進し続けていこうと考えています。



第22回全国物流青年経営者中央研修会(2/22開催)

(公社)全日本トラック協会における青年部会の発足に向けて
 第22回全国物流青年経営者中央研修会・交流会
 公益社団法人 全日本トラック協会

中央研修会交流会の看板

◇「ロジ研フォーラム7」

「持続性の追求」

テーマ「日本の動きと運送業界を取り巻く環境の変化」
 ～トラック運送経営への影響～

1. 開会(司会者) 大島 弥一 研修委員長
2. 主催者挨拶 松本 有司 本部長
3. パネルディスカッション
 コーディネーター
 野尻 俊明 氏 流通経済大学教授
 パネリスト
 三橋 貴明 氏 作家・評論家
 高岡 美佳 氏 立教大学経営学部教授
 秋田 未樹 氏 国土交通省関東運輸局自動車交通部長
 下川 悟 氏 ロジ研企画委員長(株)プライム物流社長
4. 閉会
5. 交流会

研修委員長 大島 弥一 [新宿支部 大島運輸(株)]

平成25年3月14日東京都トラック総合会館7階大会議室で『フォーラム7』を開催しました。過去6年の「安全と安心」から今年度は「持続性の追求」を統一テーマとして、「日本の動きと運送業界を取り巻く環境の変化」～トラック運送経営への影響～という内容でパネルディスカッションを行いました。



会場風景

コーディネーターには流通経済大学教授の野尻俊明先生、パネリストには作家・評論家でテレビ等でもお馴染みの三橋貴明先生、立教大学教授の高岡美佳先生、国土交通省関東運輸局の秋田未樹自動車交通部長、業界を代表してロジ研の企画委員長・プライム物流の下川社長にご登壇頂きました。



コーディネーター
 流通経済大学教授
 野尻 俊明 氏

パネリストの皆様



三橋貴明氏 高岡美佳氏 秋田未樹氏 下川悟氏

先生方には非常に難しいテーマにも関わらず、非常に分かりやすいディスカッションをしていただき、時間の短い中でも密度の濃いフォーラムとなりました。実は三橋先生とのひと月前の打ち合わせではT P P 反対派の三橋先生がT P P 推奨派の高岡先生を泣かせてしまうのではないかという心配もありましたが、直前の打ち合わせ時から、高岡先生が「三橋先生はとても面白いですね！」を連呼し、三橋先生を丸め込み、結局フォーラム全体も綺麗にまとまってしまいました。さすがは元アイドル、したたかさを十分に発揮していただけたかと思ひます(;^_^A



さてフォーラム終了後は会場を4階に移しての交流会を行いました。



竹内顧問の音頭で乾杯

青年部・女性部からご参加頂いた他、一般参加も18名おり、トラック協会のよいPRが出来たのではないかと思います。ご参加頂きました皆さま、本当にありがとうございました。25年度も引き続き、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。



最後は「東京のトラック業界ファイト」のシュプレヒコール

◇スケジュール 《○ロジ研行事予定》

- 4/17(水) 16:00～ 正副本部長会議 (東ト総合会館 6小)
- 4/26(金) 16:00～ 三組織連絡会 (東ト総合会館 6小)
- 5/17(金) 16:00～ 正副本部長会議 (東ト総合会館 6中)
- 5/17(金) 17:00～ 幹事会会議 (東ト総合会館 6中)
- 5/20(月) 東ト協総会(帝国ホテル)
- 6/ 5(水) 青年部総会(東ト総合会館 7階)
- 6/ 7(金) 女性部総会(東ト総合会館 7階)
- 6/11(火) ロジ研総会(東ト総合会館 7階)

◇「平成24年度ロジ研チャリティゴルフコンペ」 企画委員長 下川 悟〔中央支部(株)プライム物流〕

ロジ研チャリティゴルフコンペも第3回目となり1回目、2回目よりも盛り上がりロジ研企画委員長として皆様感謝いたします。

前回と同じで3/20(水)春分の日板橋支部の篠崎眞さんのご尽力で埼玉県大里郡の平成倶楽部「鉢形城コース」にて開催しました。

今回は8組32名の参加の中に青年部より6名の参加協力を頂きありがとうございました。

ロジ研の統一テーマが「持続性の追求」と有るように、ロジ研チャリティゴルフコンペも持続開催する事に意義があり持続する事で会員各位の親睦と活動での一体感を生むことと思ひます。

今回の優勝者は、タイトラック協会の親善コンペにも参加頂いた足立支部会員の比気聡夫さん、準優勝もタイトラック協会の親善コンペにも参加頂いた多摩支部会員で本部連絡委員長の宮本隆さん、第三位は千代田支部会員の山本伸一さんでした、やはり皆さん新ペリア方式のハンデの特徴を良く理解した方々かなと思ひます。おめでとうございます。

また、競技終了後のパーティーでは事前に参加者へ何か商品のご提供をお願いして当日ご提供頂いた各商品も様々な物があり順位の表彰式前に何が有るのか興味津々で自分は何位だろう何が貰えるかなと楽しいパーティーでした。

本来の目的であるチャリティ募金のご報告を皆様この場をお借りしてご報告いたします。

出場者32名、総額95,438円が今回募金されました。この貴重な皆様の善意を無駄にすることなく、ロジ研役員会にて有意義な寄付先を検討したいと思ひています。

本チャリティゴルフコンペ開催にあたり、ご厚志を頂いた大高会長・浅井副会長・綿引専務の皆様ありがとうございました、今後とも宜しくお願ひいたします。

最後に、我がロジ研の小さな行動が少しでも人の為になるなら、ロジ研会員が楽しく協力し合い小さな行動を積み重ね業界の発展と社会的な地位向上につながれば良いと思ひています。

今回参加して頂いた皆さんには感謝いたします。

◇「<美食の点呼記録>・・・⑨」



春の嵐も爆弾低気圧などと呼ばれ、猛威を振るっています。異常は気候だけでなく食にも影響し、その代表が鰻ではないでしょうか。今回は貴重となった鰻を余す所なく愉しめる店をご紹介します。その店の中野にあります『川二郎』まずは豊富な種類の串焼きから注文を。八幡巻・短冊・串巻(身を細長く切り巻いたもの)・きも焼(心臓、胃などの内臓部分)・ひれ焼(背、腹びれ)・レバー焼・バラ焼(あばら部分の身を削ぎこねたもの)・えり焼(頭の近く)と普通の鰻屋では味わえない部位を丁寧に仕込んだ逸品がズラリ。わんこそばの如く、永遠に食べていたい気分になります。かば焼きも勿論ありますが、ズにふさわしいごはん少なめで呑み助の胃袋事情をまこと理解しております。ああ、書いていてヨダレが垂れてきた。予約しなきゃ!

「川二郎」 中野区中野 5-55-10 17:30～22:00
03-3389-4192

<ペンネーム 常時無礼講>